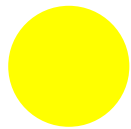


自己点検・評価の導入について

財団法人専修学校教育振興会
学校評価等に関する研究委員会
小平 達夫

社会的視点から見た専修学校・各種学校における自己点検・評価の位置づけ

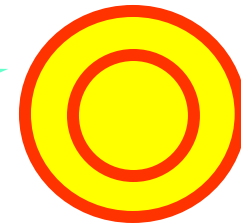
平成14年
省令の通知



努力義務



平成19年11月8日
省令改正の通知



義務

「自己点検・評価」の展望

	大学・短大	専門学校
平成3年	自己点検・自己評価の <u>努力義務化</u>	
平成11年	自己点検・自己評価の <u>義務化</u>	
平成14年	第三者評価の <u>義務化</u>	自己点検・自己評価の <u>努力義務化</u>
平成19年		自己点検・自己評価の <u>義務化</u>
平成X年		第三者評価の <u>義務化</u> ？

[参考] 第三者評価とは？

「第三者評価」制度は
自己評価報告書を
第三者評価機関が
評価するスタイル

統一的な評価基準の下で実施

自己評価
報告書

第三者評価

自己点検
自己評価

自己点検
自己評価

...

自己点検
自己評価

経常的な自己点検・自己評価(改善)活動の実践
(記述式で記入し、書き加え、書き直しを続ける)

学内の体制

点検・評価の社会背景

(1) 規制緩和との引き換え

大学評価: 設置基準を緩和する
代わりに点検・評価を求める

(2) グローバルスタンダード

高等教育機関の競争
↓
教育内容の互換性・基準等の問題

(3) 一般的な法則

- ・産業の発展による製品
- ・サービスの多種化・多様化
- ・モラルの低下
 - ①「改善」に対する社会的な要請
 - ②自己評価の実施に対する要請
- ・情報化の進展
 - ①情報利用者は良質な情報を欲しがる

自己点検・評価の目的

●消費者保護

- (1) 教育の質・水準の明確化
- (2) 教育の質・内容の向上
- (3) 社会的認知の向上
- (4) ステークホルダー（顧客・利害関係者）との協同関係の向上
- (5) 学校選択への利便性提供

自分達の学校を
良くしていく
ためのもの!!

自己点検・評価の考え方・捉え方とは？(1)

●評価を対象で分類すると

機能評価：仕組み、プロセスの評価

成果評価：結果の評価、達成度評価

●評価を範囲で分類すると

機関評価

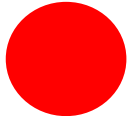
- ・対象となる機関全体に係る組織的な評価
- ・評価の対象は、相対的に広く浅い

専門分野別評価

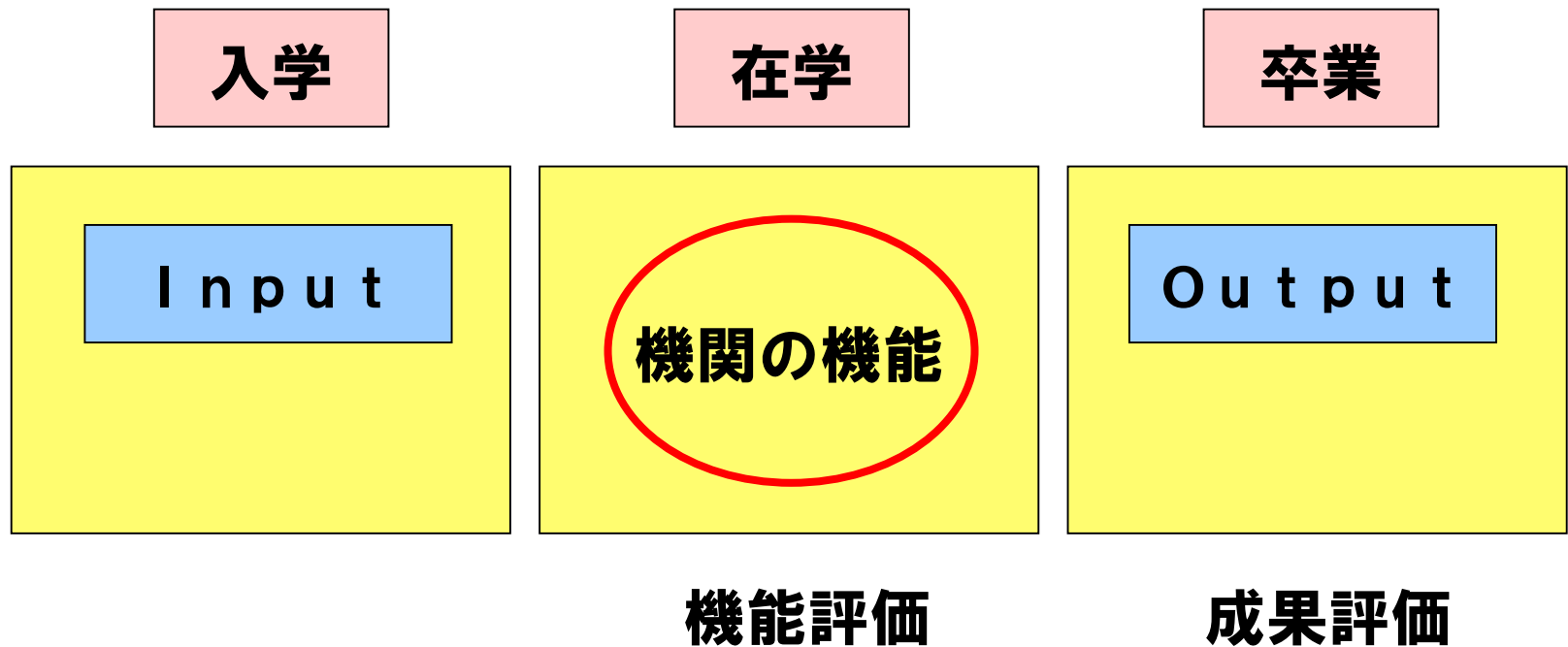
- ・専門分野ごとの評価
- ・評価の対象は、相対的に狭く深い

教育機関の一般的な自己点検・自己評価は、
機能評価かつ機関評価が主流！

自己点検・評価の考え方・捉え方とは？(2)

	機関評価	専門分野別評価
機能評価		
成果評価		

自己点検・評価の考え方・捉え方とは？(3)



富山情報ビジネス専門学校の 自己点検・評価の取り組み事例

「平成20年度」授業満足度アンケート

目的	知識・意欲・コミュニケーション能力の向上を図るための当校の取組の有効性、妥当性を計り、アンケート結果より改善を行い、教育効果と学生満足度を高める。
アンケート形式	ペーパーによる無記名記述式(性別のみ記入)
実施時期	年2回(前期は、最終週のクラス活動、後期は1月中旬のクラス活動)
対象者	全学生 ※全学科学学生(休学者を除く) 368名(平成20年5月1日現在) 回答者数:365名、アンケート回答率:99.2%
対象授業	全授業科目(集中授業は除く)

「平成20年度」授業満足度アンケート

実施・集計 担当者	ジェック経営コンサルタント株式会社	
集計方法	全体集計・クロス集計 (学年別、学科別、男女別、常勤非常勤別)	
報告者作成	自己点検自己評価委員会	
開示に ついて	学生	原則すべてであるが、内容を考慮する
	非常勤講師	非常勤講師個人結果、必要に応じて
	教職員	すべて開示
	上記以外	ホームページにて報告書をアップ

「平成20年度」授業満足度アンケート

実施計画

時期	内容
5月（中旬） 6月（中旬） 7月（下旬）	・計画書作成、完成 ・アンケート完成（教職員・非常勤講師・学生に開示する） ・前期授業アンケート実施
8月 10月（中旬） 1月（中旬）	・集計開始、完了 ・学生、非常勤、教職員への集計結果の開示 ・下期授業アンケート、卒業学年アンケート実施
3月（中旬） 3月（下旬）	・学生、非常勤、教職員への集計結果の開示 ・アンケート集計結果の分析開始、報告書（改善策）の完成

平成20年度「授業アンケート」における改善

(1) アンケート内容の見直し

(2) 外部機関委託によるアンケート実施

(3) アンケート結果の教員への早期フィードバック

**(4) アンケート結果に基づく教員の振返りと
今後対応策の記載**

(5) 学生、学校関係者、第三者への開示

(1) アンケート内容の見直し

アンケートの対象の変更

学生自身の授業態度



教員自身の教育活動

過去のアンケート

現在のアンケート

(2) 外部機関委託によるアンケート実施

アンケートの実施者の変更

授業担当教員



外部機関
(コンサルティング会社)

(3) アンケート結果の教員への早期フィードバック

アンケート結果のフィードバックの早期化

11月頃



9月上旬

(4) アンケート結果に基づく教員の振返りと 今後対応策の記載

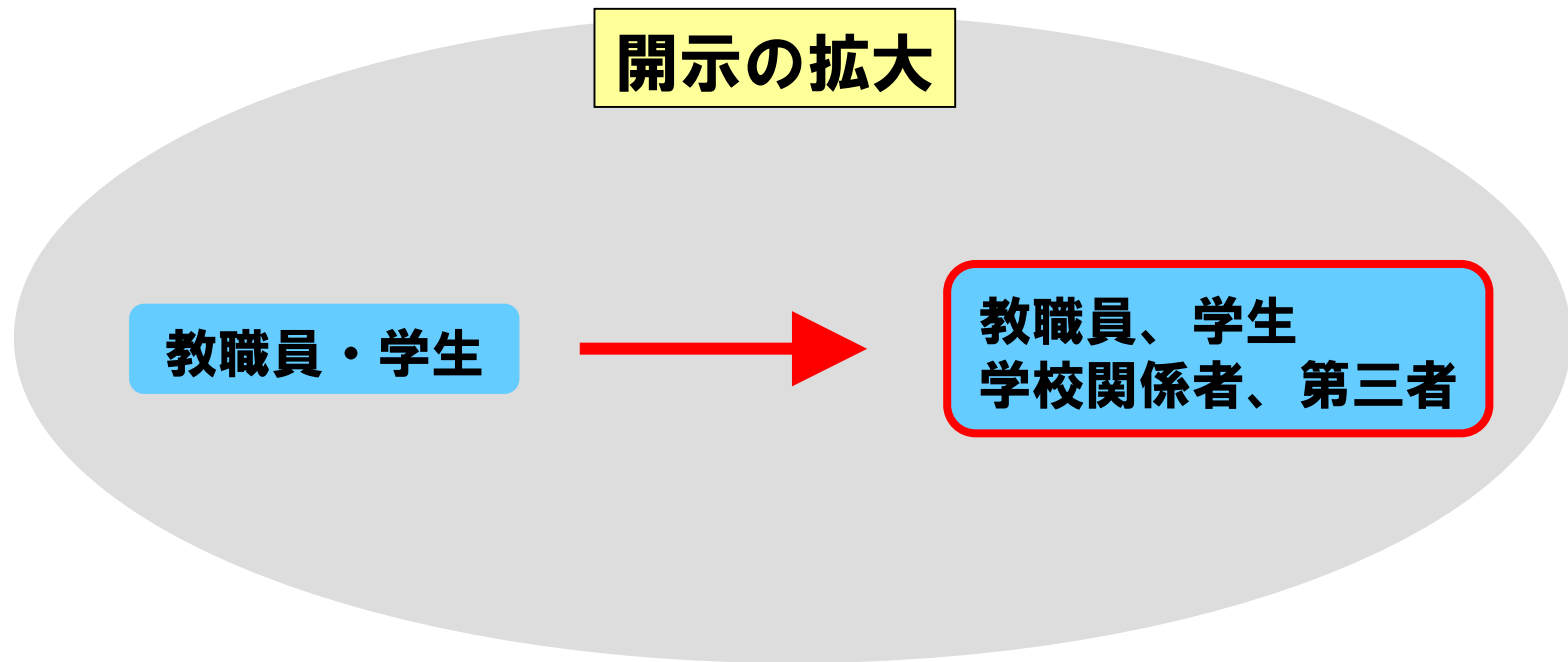
アンケート結果のフィードバックの
内容変更

アンケート結果の
配布のみ



教員の振返りと改善策の
明確化

(5) 学生、学校関係者、第三者への開示



振り返り記入例(良い例・悪い例)

(良い例)

授業アンケート集計		1	2	3	4	5	6	無回答	合計	平均
		100%	75%	50%	25%	0%	回答がない			
質問01	授業内容は興味深く、学習意欲をかきたてられた	3	2	1					6	1.7
		50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
質問02	先生は授業において教科書や資料・教材を有効に活用していた	2	4						6	1.7
		33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
質問03	先生の説明や指導は分かりやすく適切であった	3	3						6	1.5
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
質問04	先生は学生からの質問に丁寧に対応していた	5	1						6	

総合満足度：1.5ポイント

質問07	先生は授業規律(授業開始終了時間、授業開始時の立礼、私語・居眠り・飲食・携帯電話マナー違反の禁止・注意、授業終了後の机やその周辺の整理整頓など)を守っていた	4	2						6	1.3
		66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
質問08	先生は、皆さんの授業の理解度を確認するために定期的に課題をだしたり、小テストを行っていた	3	2		1				6	2.0
		50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
質問09	あなたは授業内容を理解し十分身につけることができた		5	1					6	2.2
		0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
質問10	科目に対する総合的満足はどのくらいか	3	3						6	1.5
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

授業アンケート結果について(教員の振り返り)

質問8. 小テストは実技実習であるため、実施しない。課題は各テーマごとに行っている。
 学生にとってそれが何のための課題であるのかわかりにくい場面があるかも知れないので、その点を確認しながら進める。
 質問9. 理解が100%の学生がいない。使用するソフトウェアがプロ用ものであり、奥が深いので、満足感が得にくいと思われる。達成感が得られる課題をばさんでゆくことで、理解したと感じさせることも可能である。

今後のこの授業のあり方について(教員の改善策)

この授業では、学科における実習の基礎となる2次元CGの技術を身につけることを目的としており、この授業だけで完結するわけではないので、より高いレベルの技術を今後の実習から要求される。そのため、時間の許す限り、上へ上へと向上する授業内容が要求されるため、学生にとっては、理解度が上がったと実感するより、また次の難しい課題が出されたと感じることのほうが多いと思われる。
 しかしながら、学生のモチベーションを維持するためにも、作品を振り返ったりする時間を取り入れてゆく。

(悪い例)

授業アンケート集計		1	2	3	4	5	6	無回答	合計	平均
		100%	75%	50%	25%	0%	回答がない			
質問01	授業内容は興味深く、学習意欲をかきたてられた	2	2	7	16	10			37	3.8
		5.4%	5.4%	18.9%	43.2%	27.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
質問02	先生は授業において教科書や資料・教材を有効に活用していた	7	8	5	11	5	1		37	3.1
		18.9%	21.6%	13.5%	29.7%	13.5%	2.7%	0.0%	100.0%	
質問03	先生の説明や指導は分かりやすく適切であった	3		5	12	16	1		37	4.1
		8.1%	0.0%	13.5%	32.4%	43.2%	2.7%	0.0%	100.0%	
質問04	先生は学生からの質問に丁寧に対応していた	5	2	10	7	13			37	2.7

総合満足度：4.1ポイント

質問07	先生は授業規律(授業開始終了時間、授業開始時の立礼、私語・居眠り・飲食・携帯電話マナー違反の禁止・注意、授業終了後の机やその周辺の整理整頓など)を守っていた	15	4	11	2	5			37	2.4
		40.5%	10.8%	29.7%	5.4%	13.5%	0.0%	0.0%	100.0%	
質問08	先生は、皆さんの授業の理解度を確認するために定期的に課題をだしたり、小テストを行っていた	11	10	13	1	2			37	2.3
		29.7%	27.0%	35.1%	2.7%	5.4%	0.0%	0.0%	100.0%	
質問09	あなたは授業内容を理解し十分身につけることができた	2	5	8	11	10	1		37	3.7
		5.4%	13.5%	21.6%	29.7%	27.0%	2.7%	0.0%	100.0%	
質問10	科目に対する総合的満足はどのくらいか	2	4	3	11	15	2		37	4.1
		5.4%	10.8%	8.1%	29.7%	40.5%	5.4%	0.0%	100.0%	

授業アンケート結果について(教員の振り返り)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

今後のこの授業のあり方について(教員の改善策)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

質問の観点

1. 授業内容

＝授業内容は興味深く、学習意欲をかきたてられた

2. 授業教材

＝先生は授業において教科書や資料・教材を有効に活用していた

3. 教授方法

＝先生の説明や指導は分かりやすく適切であった

4. 授業対応

＝先生は学生からの質問にいていねいに対応していた

5. 授業運営

＝先生の時間配分と進行ペースは適切であった

質問の観点

6. 授業内容の明確化

＝毎回の授業の目標・課題は明確であった

7. 授業規律

＝先生は授業規律(授業開始終了時間,授業開始終了時の立礼,私語・居眠り・飲食・携帯電話マナー違反の禁止・注意,授業終了後の机やその周辺の整理整頓など)を守っていた

8. プロセス管理

＝先生は、皆さんの授業の理解度を確認するため定期的に課題をだしたり、小テストを行っていた

9. 授業理解

＝あなたは授業内容を理解し十分身につけることができた

10. 総合満足

＝科目に対する総合的満足はどのくらいか

自由意見の吸収

- 設問＝意見や要望などについて

授業において感じていることを自由に記入してください。

(例: 授業で良かった点・改善してほしい点、時間割、など)

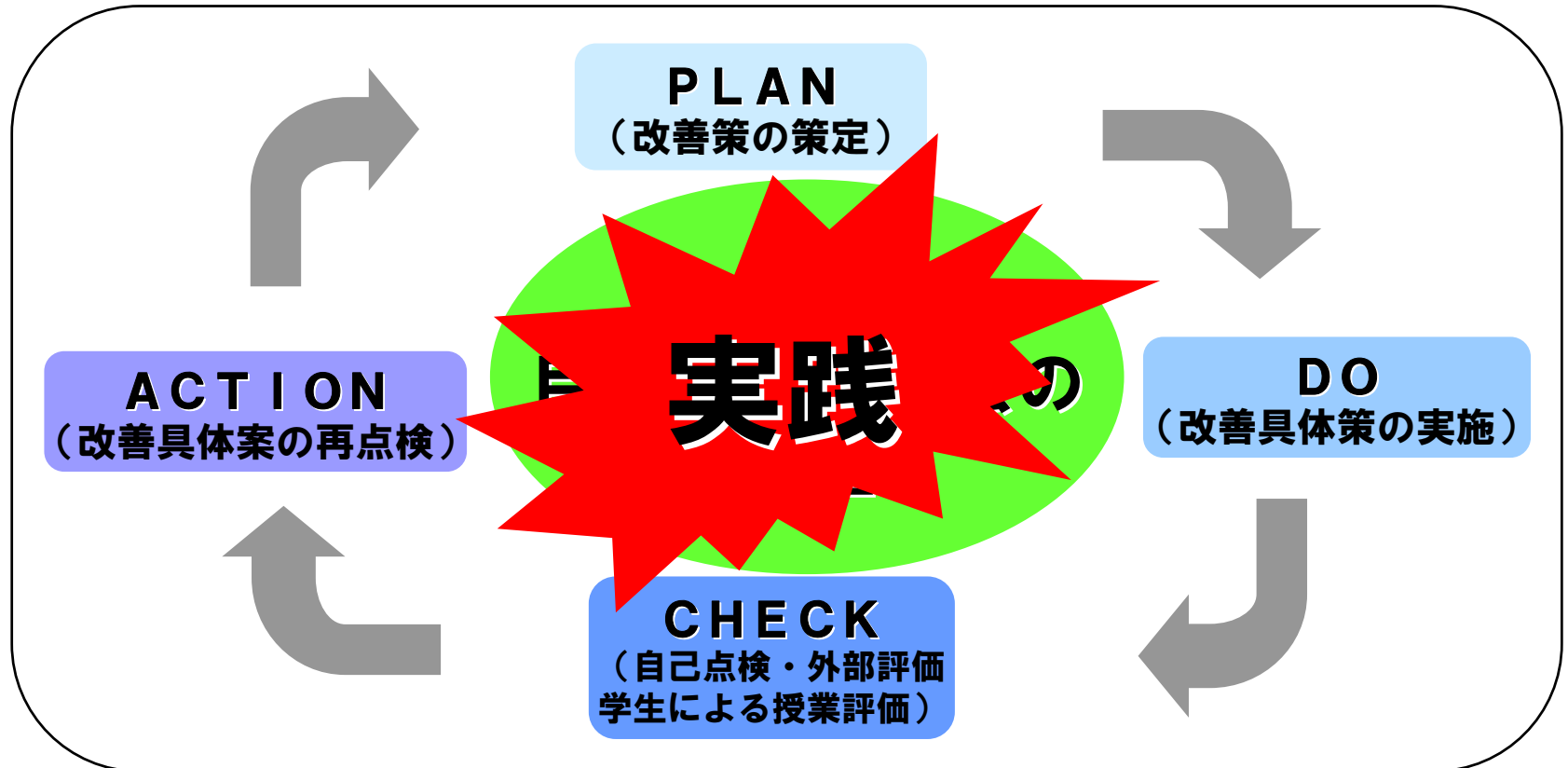
「授業アンケート」における反省と課題

1. 学生評価の該当項目
2. アンケート内容の開示の遅れ
3. プロセス管理の機能不全
4. 学校運営に関すること

1. トップの理解

2. 学内での共通理解と共有

3. 教育改善の実践



自己点検・評価の今後の対応(1)

自主的に行い、
評価基準や評価方法の
設定や選択は任意

今だに
何をやっていいかわからない
何もできない学校もある..

専教振の平成17年度
「自己点検・自己評価」
簡易チェック様式にて実施

自己点検・評価の今後の対応(2)

しかしながら・・・

平成17年度専教振「自己点検・自己評価」
簡易チェック様式では弱いのではないかと・・・
もっと深く、踏み込む必要があるのでは

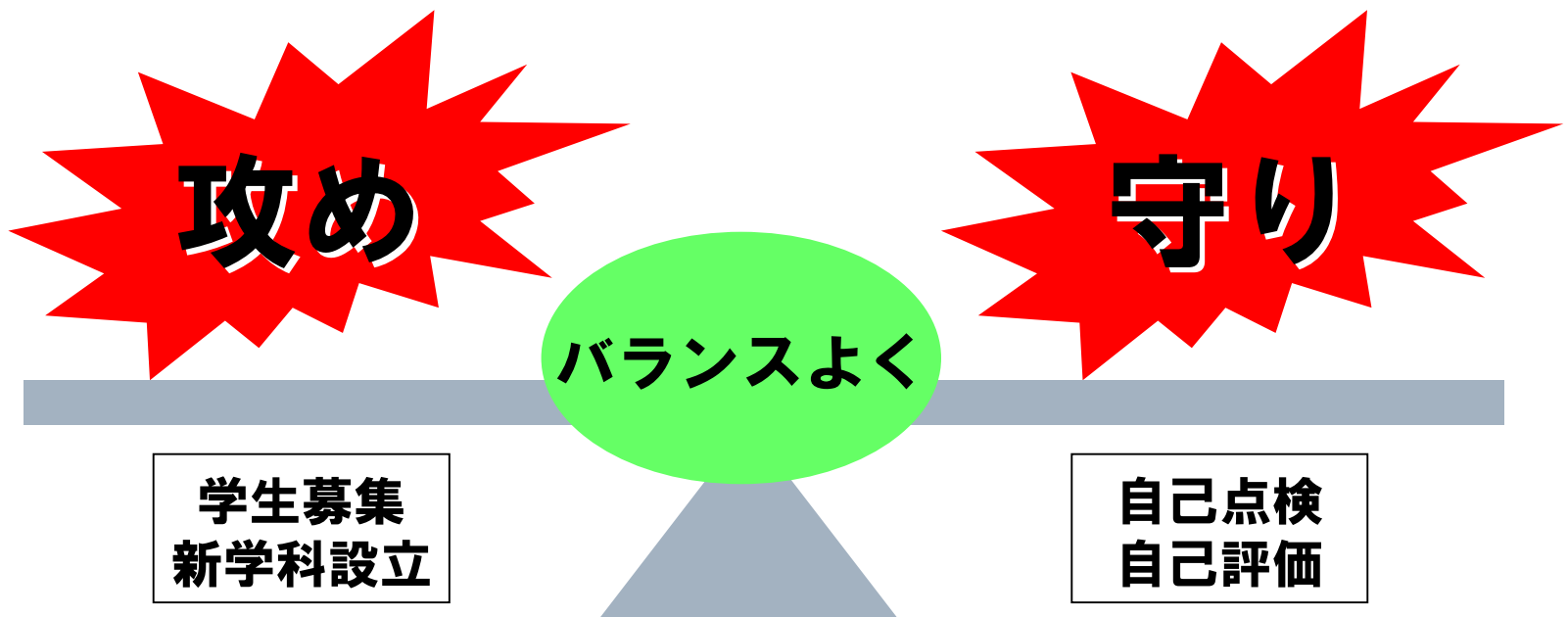
そこで

専門学校唯一の第三者評価機関である
NPO法人「私立専門学校等評価研究機構」の評価基準項目を
参考にしたらいいのでは

その評価基準項目とは

大項目 10 中項目 46 小項目 **約300**

まとめ 今後の学校運営は



教育機関として競争社会に勝ち残れる!!

授業満足度アンケート

男性 ・ 女性

1年 高度情報システム学科

- ・この授業アンケートは学生の皆さんの意見を聞くことにより、授業や実習内容をより良くする事を目的にしています。
- ・授業を改善するために、みなさんの真面目で率直な回答をお願いします。
- ・この回答により、個人の不利益になるようなことはありません。
- ・アンケートの結果は集計処理された後、学生の皆さんにお知らせします。

各質問項目1～6に対するあなたの評価を該当欄に1～6で記入してください。

- [1] 100% (例外なく常に、または、完全に)
 [2] 約75%、または、[1]と[3]の間くらい
 [3] 約50% (10回のうち5回位)
 [4] 約25%、または、[3]と[5]の間くらい
 [5] 0% (全く不十分、全くなし)
 [6] 答えようがない、どう答えてよいか、わからない

【質問項目】

- Q1 授業内容は興味深く、学習意欲をかきたてられた
 Q2 先生は授業において教科書や資料・教材を有効に活用していた
 Q3 先生の説明や指導は分かりやすく適切であった
 Q4 先生は学生からの質問にたいねいに対応していた
 Q5 先生の時間配分と進行ペースは適切であった
 Q6 毎回の授業の目標・課題は明確であった
 Q7 先生は授業規律(授業開始終了時間、授業開始終了時の立礼、私語・居眠り・飲食・携帯電話マナー違反の禁止・注意、授業終了後の机やその周辺の整理整頓など)を守っていた
 Q8 先生は、皆さんの授業の理解度を確認するため定期的に課題をだしたり、小テストを行っていた
 Q9 あなたは授業内容を理解し十分身につけることができた
 Q10 科目に対する総合的満足はどのくらいか

授業コード	科目名	担当講師	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
	コンピュータ概論 I A										
	コンピュータ概論 I B										
	プログラム設計 I A										
	MS Visual Basic I A										
	DB入門 I A										
	情報処理演習 I A										
	PBL I A										
	ワープロ I A										
	データ管理 I A										
	コミュニケーション能力・職業人意識 I A										
	ビジネスマナー I A										
	計数・計算 I A										
	職業人意識・社会人常識 I A										

- 授業において感じていることを自由に記入してください。
 (例: 授業で良かった点・改善してほしい点、時間割、など)